



子どもが主役の学校

東員町立城山小学校
 〒 511-0233
 三重県員弁郡東員町城山 1丁目48番地
 TEL 0594-76-9046 FAX 0594-76-9014
 e-mail: siroyama-jimu@mie-toin.ed.jp

城山小学校校歌

作詞 佐藤ひろし
作曲 欠塚 勉

一、お城の跡の丘の上
白い校舎の三角屋根は
弁天山と背くらべ
ぼくとわたしも励ましあって
大きく強く伸びていく
楽しい城山小学校

二、みどりりと花の町並木
並ぶひとみのかがやく窓に
ひばりの歌が呼びかける
ぼくとわたしも声かけあって
たしかな力つけていく
明るい城山小学校

三、ぎんぎら光る員弁川
澄んだ青空展望台も
広い世界につづいてる
ぼくとわたしも手をとりあって
あしたに夢を追って行く
希望の城山小学校



学校教育目標

「仲間とつながり 高め合う子ども」

【めざす学校像】

「明日が待ちどおしい学校」「子どもが主役の学校」をめざして

【めざす子ども像】

- 学ぶことに喜びを持ち、意欲的に学習する子(主体性・意欲)
- 「わからない」「困った」が出せる子(他者依存できる力)
- あたたかい聴き方・やさしい話し方ができる子(安心できる集団)
- 仲間と力を合わせて、課題を解決できる子(対話力)
- 自他を大切に、温かな関わりができる子(豊かな心・関わる力)
- たくましい体をつくり、粘り強くやりぬく子(体力向上)
- 自分から気持ちよいあいさつができる子(あいさつ推進)

【研修主題】

「児童一人ひとりが主役となる授業の創造」

～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

【重点課題】

- 「めざす学校像」を子どもと創り実践する(PDCAサイクル)
- 学力向上:「わからない」と言える授業作り「読解力」を高める教育実践(リーディングスキル)(だれ一人取り残さない D層10%)
- 算数少数教育の推進:全校的な弱みの改善(担任と少数担当の連携)
- 教師と子どもの「基本的信頼感」の構築(安心できる学習集団づくり)
- 「関わる力」育成のためのQU研修の充実(効果的なSST)
- 子どもの主体的な活動の支援→子どもが子どもに教える活動(仲間づくり、いじめ対策)
- 地域や当番の人に進んであいさつ推進(児童・PTAでのあいさつ運動)
- 保護者の「子育て20のポイントの理解」の向上(実践募集と便りの工夫)

令和3年度 研修方針 東員町立城山小学校

児童一人ひとりが主役となる授業の創造

～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

【「聴く」を軸とした学習集団づくり

4月 | 児童が主役の授業の環境づくり

- ① 【ききかためいじん】はなしかためいじんを活用し「相手の目を見て聴く」等、学習標準の確立を。
- ② 以下の指示カードを示し、できていない児童をほめたり、認めたりすることで、「聴く」の大切さを学習に実感させる。

【「分からない」と、自分から言える教室

1学期 | 安心感・信頼感のある仲間づくり

- ① 「分からない」「学切い」という物陰の裏返し、回り角のある児童【視覚児童】に寄り添う「分からない」も出発点。「分かった!」を授業のゴールへ。
- ② 安心して、自分から「分からない」と言える教室をつくるために【あたたかい聴き方】【やさしい話し方】を活用し、「対話的な学び」の充実を図る。

【あたたかい聴き方】

- ・わかるよ、どういふこと?
- ・うんうん、もう一回
- ・ゆるゆるね、言ってくれ?

★ やさしい話し方 ★

- ・「分らない」と言ったら、大丈夫!
- ・「分らない」と言ったら、大丈夫!
- ・「分らない」と言ったら、大丈夫!

【やさしい話し方】

- ① できるだけゆっくりと話す。
- ② まるで休みの時間に友だちと話しているような、生き生きとした姿が飛び出すフレンドリーな話し方。
- ③ 聞き手を意識し、例示等を使い呼びかける話し方をめざす。

【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。

① 【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。最終目標は友だちの意見を聴いて、考えて、自分の法庫でつづけて話すことである。

② 自分の考えを自由に表現できる【ノート】を活用し、「意見・根拠・具体例」の3つを明確に表現する。

【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。

① 【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。最終目標は友だちの意見を聴いて、考えて、自分の法庫でつづけて話すことである。

② 自分の考えを自由に表現できる【ノート】を活用し、「意見・根拠・具体例」の3つを明確に表現する。

【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。

① 【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。最終目標は友だちの意見を聴いて、考えて、自分の法庫でつづけて話すことである。

② 自分の考えを自由に表現できる【ノート】を活用し、「意見・根拠・具体例」の3つを明確に表現する。

【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。

① 【ステップ10】を活用し、1年間をめざす授業像を子どもと共有する。最終目標は友だちの意見を聴いて、考えて、自分の法庫でつづけて話すことである。

② 自分の考えを自由に表現できる【ノート】を活用し、「意見・根拠・具体例」の3つを明確に表現する。

月	日	曜	内容
4	6	火	始業式
	7	水	入学式
5	20	木	～21日修学旅行
	28	金	交通安全教室
6	6	日	学校創立記念日(行事は特にありません)
	7	月	プール開き
	11	金	授業参観・講演会・引き渡し訓練(5・6限)
7	13	火	～16日(金)個別懇談
	20	火	1学期終業式
	21	水	5・6年デイキャンプ
9	1	水	2学期始業式
	25	土	運動会
	27	月	振替休日
10	30	土	地域との絆行事
11	1	月	振替休日
	19	金	授業参観・P講演会・ふれあいの会(午後)
	25	木	マラソン大会(予備日:26日)
12	17	金	～22日(水)個別懇談会
	23	木	2学期終業式
1	11	火	3学期始業式
	28	金	授業参観(2・3限)
3	16	水	一日入学・入学説明会
	3	木	合唱祭またはたてわり遠足(6年生を送る会)
	18	金	卒業証書授与式(時刻未定)
	25	金	修了式・離任式

令和3年度 特別支援教育推進計画(案) 東員町立城山小学校

基本理念

「障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。」

なかよし学級経営方針

- ① 子どもの実態(能力・特性)を把握し、個に応じた教育を行う。
- ② 個別指導と個別指導を適切に組み合わせる。
- ③ 交流学級との連携を図り、児童が安心して学べる条件を考え、理解が深まるよう支援する。
- ④ 「障がい」というものではなく、個々の困り感を見逃さず、絶えず変化のある教育課程を作成する。
- ⑤ 児童と心をつなぎ、信頼関係の上に指導することを心がける。
- ⑥ 保護者との連携を大切に、学校と家庭が協働して育てる姿勢を基本とする。
- ⑦ 適宜「発達検査」を受け、客観的データを参考に、児童の成長を確認したり、困り感を把握したりして、より良い指導に生かす。
- ⑧ 全教職員が子どもたちの実態(能力・特性)、状況を把握し、理解を得る。
- ⑨ 保護者との連携を図り、協働して指導できる関係を構築する。
- ⑩ 担任・学習支援員をはじめ、全職員は守秘義務に努め、人権尊重の意識を持って指導する。

CLM 7つのポイント

- Point 1 見通しを持たせる
- Point 2 注目をさせる
- Point 3 目を合わせてから話す
- Point 4 視覚で支援する
- Point 5 指示の仕方を工夫する
- Point 6 決め方と場面づくりを心がける
- Point 7 決め方の三層構造を意識する

特別支援体制について

特別支援コーディネーター
 特別支援学級担任(なかよし1組(前・情報)2組・3組(40名))
 校内関係者や関係機関との連携調整(巡回相談・教育相談)
 校内特別支援教育推進委員会の企画・運営
 通常学級在籍で支援を要する児童についての相談、学級へ巡回
 時間割調整体制の連携、調整
 保護者の相談
 個別の指導計画の取りまとめ
 交流学級・巡回相談・通常学級に支援を要する児童(作成する。)

交流学級担任・教科指導担当教員
 ・合理的配慮の視点に立った指導、対応を心がける。
 ・適切な指導計画、巡回相談の記録などを参考に、交流学級での学習を保障する。

学習支援員
 ・支援学級担任や交流学級担任、教科指導担当教員と連携し、特別支援学級の児童を中心に、その支援を行う。